



日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第159回定期演奏会
The 159th Regular Concert

コンポーザーズ・プロジェクト・シリーズⅢ

佐藤敏直氏からのメッセージ

Composer's project series III: message from Toshinao Satoh

2000年5月17日[水]午後7時開演 津田ホール

■主催

特定非営利活動法人日本音楽集団
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302
TEL 03-3378-4741 FAX 03-3376-2033
URL <http://www.promusica.or.jp/index.html>
E-Mail office@promusica.or.jp

■助成

文化庁・日本芸術文化振興会
舞台芸術振興事業



Arts Plan 21



芸術文化振興基金

一、和楽器のための協奏曲 (1997年) 佐藤敏直作曲

Toshinao Satoh : Concerto for Japanese Instruments

[笛] 竹井誠 [尺八] I 米澤浩 II 水川寿也

[三味線] I 杵家七三 II 工藤哲子 [琵琶] 田原順子

[箏] I 岸川光代・黒澤有美 II 田村法子・徳野礼子

[十七絃] 久本桂子・前川美保子

[打楽器] I 尾崎太一 II 白杵美智代

[指揮] 佐藤敏直

二、二棹の三味線のための「序破急」(2000年、委嘱・初演) 佐藤敏直作曲

Toshinao Satoh : Jo-Ha-Kyu for Two Shamisen

[細棹三味線] 箕田司郎 [太棹三味線] 山崎千鶴子

三、青の韻律 (2000年、委嘱・初演) 竹内淳作曲

Jun Takeuchi : The Rhyme of The Blue

[笛] 竹井誠 [尺八] I 水川寿也 II 添川浩史

[細棹三味線] 箕田司郎 [太棹三味線] 工藤哲子

[箏] I 熊沢栄利子・田村法子 II 早川智子・久本桂子

[十七絃] 中垣雅葉・丸岡映美

[打楽器] I 望月太喜之丞 II 黒坂昇

[指揮] 田村拓男

休憩

四、尺八、箏、打楽器のための音楽 (1997年) 佐藤敏直作曲

Toshinao Satoh : Music for Shakuhachi, Koto and Percussion

[尺八] 三橋貴風

[箏] I 吉村七重 II 桜井智永 III 岸川光代 [十七絃] 宮越圭子

[打楽器] 高橋明邦

五、デイヴェルテイメント (1969年) 佐藤敏直作曲

Toshinao Satoh : Divertimento

[笛] 竹井誠

[尺八] I 三橋貴風 II 添川浩史

[三味線] I 杵家七三 II 工藤哲子

[箏] I 熊沢栄利子 II 桜井智永 [十七絃] 宮越圭子・大畠菜穂子

[打楽器] I 望月太喜之丞 II 白杵美智代

[指揮] 佐藤敏直

作品あれこれ

佐藤敏直



先般邦楽ジャーナルのアンケートの中に、邦楽のこれからは天気予報のマークにたとえたらどうなるか、天気の記号で答える項目がありました。結果を見て、晴と答えた方の少ないことに少々驚きました。もう邦楽なんて人気がないと思われるという不安の意識なのか、「晴」と答えた私は自分が軽率だったのではないかとすっかり考え込んでしまいました。

平成14年から実施される文部省指導要領では、中学生は3学年の間に何か一つの和楽器に触れることと、一歩突っ込んだ新しい内容に変わりました。いまや学校の先生方はそれらの知識や楽器の奏法について無関心でいられなくなったはずですが、西洋音楽一辺倒な音楽教育にすこし変化が生じているようです。あまり多くを期待しないまでも、もしこうして和楽器に親しみを覚える若者が増えるならば、まだ遅きに失したとは言えないように思います。

一般的に伝統の深さが反作用して、古さのイメージばかりが強くと働いているとすれば、そうしてしまった日本の音楽教育者や音楽家達の責任ということになるでしょう。その意味でも現代に生きる人々を動かす魅力ある優れた新しい作品を生み出す運動を盛んにする必要があります。私自身も、ご多分に漏れず西洋音楽にどっぷり漬かってきた人間で、伝統の音にはいささか退屈する方ですが、それでもいわゆるデュナーミクやアゴーギクそしてアーティキュレーションに関しては言うに及ばず、音響のテクスチャーそのものが西洋のそれらと全く異なる事実と接して、その不思議な魅力に惹き付けられています。日本音楽集団が続けてきた仕事の偉大さを改めて感じます。

和楽器のための協奏曲

日本音楽集団委嘱作品。1997年11月27日第149回定期演奏会（津田ホール）で初演。田村拓男指揮。

個性の強い、西洋のそれに比べて異種の間ではお互いに溶けあいにくい楽器や楽器群の存在を、

出来るだけはっきり顕したいと考えながら書いた作品です。共存あり、葛藤あり、時には混沌が生れ、そしてまれに調和もみえるような多様な変化をまとめたものです。再演に際して手を加えました。単一楽章。

この年は、「邦楽グループたまゆら」やNHK邦楽技能者育成会の作品完成など、不思議と和楽器に縁のある年でした。

二棹の三味線のための「序破急」(本日初演)

冒頭ファ♯・ソ・ラ♯・ド♯・レ・ラの音列で始まりますが、全体はこの関係が基本となって、多様に展開されます。文字通り「序」はテーマの提示で導入部分、「破」は一つの展開、「急」は、さらなる速さや「ま」の異なった場面への発展と、三つの部分からなっていて、切れ目無く演奏されます。三味線のために親切的な音楽になったとはとても思えませんが、太棹と細棹との対比が明確に出て音楽の綾が一層深まることを祈っています。

尺八、箏、打楽器のための音楽

「邦楽グループたまゆら」の委嘱作品。1997年7月13日大田こども劇場（大田区民プラザ）で初演されました。4曲の小品からなる組曲といったところでしょうか。それほど厳しい構成を考えずに、自然に流れ来るままに書いていったことを記憶しています。そしてその演奏を子どもたちが熱心に聴いてくれたことにも驚きました。

ディヴェルティメント

日本音楽集団委嘱作品。1969年10月31日第10回定期演奏会（朝日生命ホール）で初演。横山千秋指揮。

第1楽章は長短調のシステムが強く影響しています。その頃の和楽器に対する悩みが、私には今でも手にとるように判る部分です。第2楽章は教会旋法を意識して和楽器の可能性を探った跡があります。第3楽章で少し日本的な色彩が加わりました。いずれにしてもはじめての大合奏でしたので、手探りで連続でした。

それほど昔の作品ですが、いわゆる「邦楽」に対して、音楽に閉鎖的な印象をもっていましたので、何か開放感のある世界が描けないだろうかと考えたことを覚えています。

佐藤敏直プロフィール

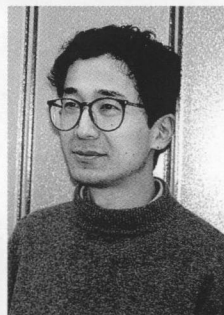
1936年山形県鶴岡生れ
慶應義塾大学工学部電気工学科卒
清瀬保二に師事
日本音楽集団団友
所属：日本現代音楽協会
作品：管弦楽、室内楽、独奏曲、歌曲、合唱曲など、オペラを除いてあらゆるジャンルにまたがる。
趣味：絵画
目下の愛情は四月で二歳の孫・遼に。

佐藤敏直邦楽器作品表

- 二面の箏と管弦楽のための1章**
(箏、十七絃、オーケストラ) 1982
- 尺八、箏、十七絃の三重奏曲**
(尺八、箏、十七絃) 1967
- ディヴェルティメント**
(横笛、尺八2、三絃2、箏2、十七絃、打楽器2) 1969
- 片足鳥居の映像**
(尺八独奏) 1971
- 鳩のいる風景**
(尺八2) 1974
- 十七絃のためのファンタジー**
(十七絃独奏) 1975
- 灰色の風のデッサン**
(尺八3) 1979
- 三面の十七絃のための「群青」**
(十七絃3) 1981
- 糸のためのコンチェルト**
(箏7、十七絃3+箏独奏) 1983
- 断章**
(尺八、箏) 1983
- 青のモチーフによるコンポジション**
(笛、尺八2、三絃、琵琶、箏2、十七絃、打楽器2) 1984
- 糸四題**
(箏2) 1985
- 風と光と空と**
(箏5、十七絃2) 1988
- 幻想五景**
(箏4、十七絃2) 1996
- 尺八、箏、打楽器のための音楽**
(尺八、箏3、十七絃、打楽器) 1997
- 和楽器のための協奏曲**
(笛、尺八2、三味線2、琵琶、箏4、十七絃2、打楽器2) 1997
- 和楽三章**
(笛、尺八2、三絃、琵琶2、箏3、十七絃) 1997
- 飛翔**
(箏独奏、十七絃独奏、箏・三絃合奏) 1998
- 素描三題**
(尺八、箏3、十七絃、鼓) 1999

「青の韻律」のこと

竹内淳



青は森の深い青。韻律は木々のさまざまな重なり合う様子を表す。東山魁夷氏に「青響」という絵があり、中央に白い滝が描かれている。でも氏によれば重要なのは滝ではなく、まわりで繁り合う木々の、青の韻律だという。曲のモチーフや中心音の在り方は、部分的には絵からの触発と考えられ、篠笛による主要モチーフを発展させえないところは滝に通じ、中心音の「シ」や緩徐な中間部分を支えるオスティナートは滝の先の静かな流れといえる。

しかし自分の中の西洋(的)と日本(的)との葛藤、戦いが一方にあって、前者はリズムのざわめきとなり常に後者の「心」をかき乱した。その「戦い」のエネルギーが音楽の原動力ともなった。邦楽器の大編成ということで作曲に3ヶ月半、スケッチも入れれば半年を要した。全体は急・緩・急の三部分からなる。

このたびの演奏会で作品初演の機会を与えていただいた日本音楽集団の方々及び佐藤敏直先生に、心より感謝申し上げます。

竹内淳プロフィール

1959年生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲家卒業。間宮芳生氏に師事。現在は㈱カワイ音楽企画音楽研究部員として音楽教室教材などを作成する傍ら、フリーでも活動。宮本文昭のアルバム(「ニペンシィ」～最新作「オマージュ・オ・ブルー」まで5作)やコンサート、高橋美智子、山形由美のアルバムなどで作曲・編曲、その他。

佐藤敏直氏を迎えて

田村拓男

コンポーザーズ・プロジェクト・シリーズⅢに佐藤敏直氏を迎えました。

氏は、本日出来上がったCD（創立35周年記念第Ⅱ集）のタイトルにも選ばれている「ディヴェルティメント」の作曲者であり、曲とともに、その名声は現代邦楽発展の歴史の中で燦然と輝いています。

「ディヴェルティメント」は第10回定期演奏会(1969年10月31日・朝日生命ホール)で初演されて以来、集団以外の団体でも、プロとアマを問わず、多くの演奏の機会を持っており、早くからレコーディングの期待が寄せられていた曲でした。

曲の誕生から31年目、ようやくにしてCDになった「ディヴェルティメント」は、今後も更に多くの皆様に愛され親しまれて行くことでしょう。

今日は、その佐藤敏直氏の企画・構成…。新曲を書き、自ら指揮もし、新人作曲家竹内淳氏を引き連れて、縦横無尽に活躍して頂きたいと思っています。

(日本音楽集団・代表)

賛助会員へのお誘い

日本音楽集団は、平成11年10月15日付で東京都認証の特定非営利活動法人となりました。かねてより念願であった法人格（公益）を取得できましたことは、私たちにとってこの上ない喜びでございます。今後一層責任ある立場での更なる活動の発展を期したいものと思っております。

私どもの目的であります「日本の伝統楽器による現代の日本音楽の研究・創造・発表」という事業の継続は、言葉で唱えるほど簡単なものではないこととは重々承知しているつもりです。経済的、精神的、芸術的な面においても充実を目指す努力が求められています。そして、多くの方々との連携やご支援をいただきこそ推進できるものと思えます。

この度、特定非営利活動法人日本音楽集団発足を契機に賛助会員を募集しています。是非、多くの方々からご支援を仰ぎ、世紀を超えた息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

賛助会員になって頂いた方々には、ご芳名をプログラムやインターネット上のホームページに掲載させていただき、また、定期演奏会や、その他の活動のご案内を差し上げます。

会費 年間 法人一口30,000円（1口以上）

年間 個人一口10,000円（1口以上）

お問合せ・申込先 特定非営利活動法人日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1滝沢ビル302

TEL : 03-3378-4741 FAX : 03-3376-2033 E-mail : office@promusica.or.jp

日本音楽集団 最近の活動と今後のおもな予定 (1999年11月～2000年11月)

- 11月10日(水) 神奈川県立秦野南が丘高等学校公演 秦野市文化会館大ホール
12月 3日(金) 駒場幼稚園「ごんぎつね」公演
12月 5日(日) 日本の楽器たちのコンサート 多聞寺
12月12日(日) 「第12回子ども邦楽まつり」に出演 東京都児童会館ホール
12月15日(水)～17日(金)
にいがた音楽鑑賞会「竹取物語」公演 新潟市民芸術文化会館コンサートホール
- 2000年
- 1月22日(土) 第158回定期演奏会～RI・TSU・DO～ 青山円形劇場
2月 2日(水) オーケストラと和楽器の競演vol.10 ザ・ファイナルコンサートに出演
板橋区立文化会館大ホール
2月24日(木) 2月の芸術のタベ～2000年の幕開けを朝鮮の民族楽器が奏でる友好の調べ～に出演
北とぴあ・さくらホール
3月 4日(土) 松江「竹取物語」公演 プラバホール
3月16日(木) 新潟公演 新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあ劇場
4月 7日(金) パイロット国際会議レセプションに出演 全日空ホテル
5月17日(水) 第159回定期演奏会～コンポーザーズ・プロジェクト・シリーズⅢ
～《佐藤敏直氏からのメッセージ》 津田ホール
5月22日(月)～25日(木)
長野更埴地区鑑賞音楽教室
6月30日(金)～7月8日(土)
松江市・安来市学校公演
7月13日(木)～14日(金)
郡上八幡公演
7月25日(火)～26日(水)
日本の森と親子ふれあい体験！イン信州～森林には木の音楽もいっぱい～
丸子町・(財)信州国際音楽村「ホールこだま」「研修センター」＋「周囲の森林」
8月 6日(日) 日本音楽集団&篠井英介 真夏の夜の怪異譚「百物語より」 びわ湖ホール
8月 8日(火) 日本音楽集団&篠井英介 真夏の夜の怪異譚「百物語より」 津田ホール
9月20日(水) 第160回定期演奏会～加藤秀和企画・構成によるフレッシュコンサート バリオホール
10月 3日(火)～6日(金) 宇和島市内学校公演
10月 7日(土) 宇和島「竹取物語」公演 南予文化会館
10月19日(木) 下妻市立第一高等学校音楽鑑賞会
11月19日(日) 上田グローリア合唱団創立50周年記念演奏会～長井一成先生の思い出とともに～
上田市民会館
11月22日(水) 第161回定期演奏会～ASIA新世紀へ・協調と融合 津田ホール

津田ホール自主事業

語り=篠井英介 演奏=日本音楽集団 指揮=田村拓男

夏の夜の怪異譚「百物語より」

2000年8月8日(火) 19時開演 津田ホール

プログラム

日本の抒情

夢あわせ・夢たがえ (吉松隆作曲)

百物語より～邦楽器と語りのための夏の夜の怪異譚 (吉松隆作曲)

入場料=5,000円 (全席指定)

特定非営利活動法人日本音楽集団

【正会員】(団員)

笛
 西川 浩平
 西原 貴子
 越智 成人

笙
 真鍋 尚之

箏
 西原 祐二(笙)

尺八
 宮田耕八朗
 三橋 貴風
 藤崎 重康(笛)
 竹井 誠
 米澤 浩
 水川 寿也
 添川 浩史
 加藤 秀和

胡弓
 畦地 啓司(作曲)
 多々良 香保里

三味線
 杵家 七三
 箕田 司郎
 田中 悠美子
 工藤 哲子
 坂口 美香
 在原 富士江
 山崎 千鶴子
 中山 さち子

琵琶
 田原 順子
 山田 まゆ美※
 荒井 靖貴
 落合 和美

箏
 吉村 七重
 宮越 圭子
 熊沢 栄利子
 大島 菜穂子
 桜井 智永
 山田 明美
 城ヶ崎 美保
 島崎 春美
 久東 寿子
 佐藤 里美
 梅澤 一美
 高橋 はるな
 中垣 雅葉
 岸川 光代
 早川 智子
 丸岡 映美
 桐岡 知代
 前川 美保子
 田村 法子
 黒澤 有美
 徳野 礼子
 久本 桂子
 山田 由紀

打楽器
 尾崎 太一
 高橋 明邦(指揮)
 黒坂 昇
 仙堂 新太郎
 望月 太喜之丞
 白杵 美智代
 立枝 恵子
 杉浦 邦雄
 若月 宣宏

指揮
 田村 拓男
 稲田 康
 田村 文生

作曲
 長沢 勝俊
 秋岸 寛久
 佐藤 容子

楽器・舞台
 中島 隆

代表
 田村 拓男
副代表
 尾崎 太一

運営委員
 秋岸 寛久
 西川 浩平
 仙堂 新太郎
 添川 浩史
 米澤 浩
 望月 太喜之丞
 箕田 司郎
 (五十音順)

監事
 宮田 耕八朗
 芹沢 英雄

事務局
 霜島 素子
 益井 紀恵

名誉代表
 長沢 勝俊

名誉団員
 山田 美喜子
 坂井 敏子
 白根 きぬ子

※印は休団中

【賛助会員】

法人 (株)全音楽譜出版社
 (株)大瀧邦楽器
 (財)正派邦楽会

個人 中島 靖子 田原 たま
 木津 のぶ 手塚 愛子
 安達 眞五 野原 清子
 伊藤 美恵子 森山 俊雄
 植木 真代 渡辺 ハル
 大関 富枝
 太田 颯衣
 岸 彰則
 川壁 正也
 工藤 秀也
 桜田 正憲
 後藤 隆子
 後藤 陽子
 佐々木 浩二
 杉田 和繁

【協力会員】

【団友】
 青木 誠
 秋浜 悟史
 荒谷 俊治
 伊藤 惣一
 稲垣 隆史
 大窪 悦子
 小田切 清光
 川崎 絵都夫
 川崎 祥悦
 菊地 悌子
 楠 知子
 鞍掛 昭二
 鯉沼 廣行
 坂田 進一
 佐藤 敏直
 芝 祐靖
 清水 義矩
 杉浦 弘和
 砂崎 知子
 芹沢 英雄
 高野 文子
 田嶋 恵美子
 田嶋 直士
 田中 利光
 鶴野 和子
 藤舎 呂悦
 藤舎 呂船
 仲俣 申喜
 半田 淳子
 廣瀬 量平
 福田 輝久
 鳳 声晴
 星 旭由
 増田 睦美
 宮本 幸子
 望月 太八
 元橋 康男
 矢崎 明子
 柳家 小三

横山 勝也
 吉沢 昌江
 デイヴィッド・ロープ
 デイヴィッド・ヒューズ
 ヘンリー・バーネット
 ラニィ・シェルダン
 王 燕樵
 張 曉輝

【地方支部】

道東支部 谷藤 彌
 道東支部 竹馬 亘
 水戸支部 斎藤 幸山
 山梨支部 郷 晃
 長野支部 佐藤 幸宇山
 新潟支部 飯吉 正山
 愛知支部 山田 孝子
 愛媛支部 渡辺 治子
 福岡支部 安武 由香理
 熊本支部 古川 安春

2000年5月1日現在

日本の森と親子ふれあい体験! イン信州

森での作業体験のあとに、
木の香りのするホールで「日本音楽集団」の演奏を聴こう!!

今、地球環境を守ることが人類にとって大切な使命になってきています。この催しは、都会っ子、信州っ子、そして家族が「木を植える」「木を育てる」「木を利用する」を体験し、夜は和楽器の演奏を聴いて、自然のもつ生命の素晴らしさを知ろう、という企画です。詳細は、日本音楽集団事務局までお問合せください。

期間：2000年7月25日(火)～26日(水)

場所：丸子町・(財)信州国際音楽村「ホールこだま」「研修センター」+「周囲の森林」

主催・問い合わせ：特定非営利活動法人日本音楽集団



アイ・エム・エス ●楽器リース●保管●移動●ステージ・スタッフ派遣

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4

ゆうでんビル

PHONE.03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437